

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S22	－	施策名	香流川近自然工法による整備							
担当部課	建設部土木課		関係部課								
基本情報	総合計画	基本方針	1	万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち							
		分野別項目	6	うるおいある水辺空間を整える							
		施策の進め方	1	香流川の緑のネットワーク拠点づくり							
	まちづくり行程表	フラッグ	F3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～							
		政策分類	11	魅力ある景観を創り出す							
その他(関係法令、要綱等)	河川法、砂防法										
施策開始の背景、経緯等	香流川を緑のネットワーク骨格軸として一体的な河川空間整備と、香流川を軸としたまちの活性化を図り、河川環境としては近自然工法を導入し自然環境を保全・再生・創出することで、生態的河川景観を向上させていく必要がある。										
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 「平成25年度香流川整備計画」にて策定された重点整備計画に基づき、公園西駅周辺について、風景に溶け込む近自然空間を形成するため近自然護岸の整備を行う。									
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 香流川									
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自然石の護岸へと改修を行い、元々の自然の風景に溶け込む空間を形成する。さらに、自然に近い川の流れを形成することで水生生物の生息空間を確保し、また緩傾斜護岸を整備することにより、子どもたちが水辺へ近づきやすく親しみやすい河川に整備する。									
	施策に係る主なコスト	① 香流川近自然河川改修工事	54,489 千円	②	千円						
目標・成果推移	A	28年度	目標	29年度	目標	30年度	目標	中期(おおよそ3年後)	目標	長期(おおよそ5年後)	目標
		実績	－	実績	自然石による護岸の改修を行う	引き続き、自然石による護岸の改修及び緩傾斜護岸の整備を行う	適切な河川管理を行い、自然に溶け込む環境を維持する	適切な河川管理を行い、自然に溶け込む環境を維持する			
	香流川近自然河川改修(自然石護岸)	28年度	目標	－	29年度	60m区間の護岸整備を行った	引き続き、自然石による護岸の改修及び緩傾斜護岸の整備を行う	適切な河川管理を行い、自然に溶け込む環境を維持する	適切な河川管理を行い、自然に溶け込む環境を維持する		
		実績	－	29年度	60m区間の護岸整備を行った						
	B	28年度	目標	－	29年度	親水護岸整備のため親水護岸下流部の護岸整備を行う	引き続き、親水護岸整備のため親水護岸下流部の護岸整備を行う	適切な河川管理を行い、親水護岸の環境を維持する	適切な河川管理を行い、親水護岸の環境を維持する		
		実績	－	29年度	60m区間の護岸整備を行った						
香流川近自然河川改修(親水護岸)	28年度	目標	－	29年度	60m区間の護岸整備を行った	引き続き、親水護岸整備のため親水護岸下流部の護岸整備を行う	適切な河川管理を行い、親水護岸の環境を維持する	適切な河川管理を行い、親水護岸の環境を維持する			
	実績	－	29年度	60m区間の護岸整備を行った							
環境変化	他市町での取組状況や施策を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 豊田市(児ノ口公園、加納川等)で近自然工法による整備が行われている									
改善状況	前年度からの改善点	(何をどのような状態に改善したのか) 護岸工事を開始した									
評価	目標達成状況	(目標・成果推移に対する達成状況や進捗状況など) 近自然工法による改修により、香流川の自然環境の改善を図る									
	課題	(目標達成状況を踏まえ、課題を整理) 工事にあたり、公園西駅区画整理事業や公園整備等他事業との工事調整の必要がある。									
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 適切な整備・管理ため、職員の近自然工法への理解度の向上を進めていく。									